

平成28年1月29日

消費生活用製品の重大製品事故に係る公表について

消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告のあった重大製品事故について、以下のとおり公表します。

○特記事項あり

除雪機についての注意喚起、エアコン（室外機）及びノートパソコン用バッテリーパック（「ノートパソコン」として公表）に関する事故（リコール対象製品）について  
（詳細は次頁以降参照）

- |  |    |
|--|----|
| 1. ガス機器・石油機器に関する事故<br>（うちガスこんろ（都市ガス用）1件、石油給湯機2件、<br>カセットボンベ1件、石油温風暖房機（開放式）1件）  | 5件 |
| 2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、<br>製品起因が疑われる事故<br>（うちIH調理器1件、エアコン（室外機）1件、電気毛布1件、<br>ノートパソコン1件）                          | 4件 |
| 3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、<br>製品起因か否かが特定できていない事故<br>（うち除雪機（歩行型）2件、布団乾燥機1件、<br>電気蓄熱式湯たんぽ1件、電気冷蔵庫1件、窓1件、<br>電気湯沸器1件） | 7件 |
| 4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故調査判定合同会議（※）<br>において、審議を予定している案件<br>該当案件無し   |    |

1. ～ 4. の詳細は別紙のとおりです。

※正式名称は「消費者安全調査委員会製品事故情報専門調査会及び消費経済審議会製品安全部会製品事故判定第三者委員会合同会議」という。

5. 留意事項

これらは消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づく報告内容の概要であり、現時点において、調査等により事実関係が確認されたものではなく、事故原因等に関し、消費者庁として評価を行ったものではありません。

（管理番号A201500164を除く。）

本公表内容については、速報段階のものであり、今後の追加情報、事故調査の進展等により、変更又は削除される可能性があります。

## 6. 特記事項

### (1) 除雪機についての注意喚起（管理番号A201500694及びA201500695）

#### ① 事象について

- ・ 使用者（70歳代）が除雪機（歩行型）を使用中、当該製品の下敷きになり、病院に搬送後、死亡が確認されました。当該事故の原因は、当該製品の安全装置が作動しなかった状況を含め、現在、調査中です。（管理番号A201500694）
- ・ 使用者（50歳代）が除雪機（歩行型）を使用中、投雪口に詰まった雪を取り除こうとしたところ、手を負傷しました。当該事故の原因は、当該製品の使用状況を含め、現在、調査中です。（管理番号A201500695）

消費生活用製品安全法の重大製品事故報告・公表制度が施行された2007年（平成19年）5月以降、報告のあった除雪機の事故については、これまでに19件の死亡事故及び9件の重傷事故が発生しており、このうち3件（本件含む。）は今年度発生しています。

除雪機に誤って巻き込まれるなどした場合には、死亡又は重傷事故につながるおそれが高いことから、消費者の皆様におかれては、取扱説明書の記載や表示に従い正しく使用してください。

#### ② 再発防止に向けて

##### ア 安全装置が正しく作動しない状態では絶対に使用しない

安全装置が装備されているにもかかわらず、あえてこれを作動させずに使用したり、故障を放置したままで使用したりすることは危険です。

##### イ 周囲に人がいないことを確認

歩行型除雪機を使用する際は、人を絶対に近づけさせないようにしましょう。また、不意に人が近づいた場合には歩行型除雪機を直ちに停止できるような状態で除雪を行いましょう。

##### ウ 投雪口に詰まった雪を取り除く際には必ずエンジンを停止し鍵を抜く

投雪口に詰まった雪を取り除く際には、オーガ（回転部にある雪を直接砕いて集めるらせん状の刃部分）やブローアの回転が停止したことを確認してから雪かき棒を使用して雪を取り除きましょう。

##### エ 作業中の転倒を防ぐため、十分な準備・注意をする

除雪作業を行う前に障害物の位置などを確認し、滑りにくい履物を履くなど、取扱説明書に書かれている準備を行いましょう。

また、歩行型除雪機を使用する際、特に後進時は足元や周囲の障害物に注意を払い、無理のない速度で使用するなど、取扱説明書の注意事項を必ず守って使用しましょう。

なお、経済産業省も「政府インターネットテレビ」を通じた注意喚起や独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）においても、除雪機の事故についての注意喚起を実施しています。

また、社団法人日本農業機械工業会（除雪機安全協議会）では、2004年（平成16年）4月より協議会加盟メーカーの除雪機（歩行型）において安全装置の義務化をするとともに、毎年度、事故の未然防止のため積雪地域の市町村等に対して広報紙を通じた注意喚起、販売店に対して使用者への安全指導の徹底を要請しています。

政府インターネットテレビ

「暖房機器・除雪機を使う時はココに注意！冬の製品事故」（2016年1月19日公表）

ウェブサイト：<http://nettv.gov-online.go.jp/prg/prg13012.html>

独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）

「はしご・脚立及び除雪機の事故の防止について（注意喚起）」（2013年1月24日公表）

ウェブサイト：<http://www.nite.go.jp/data/000005168.pdf>

一般社団法人日本農業機械工業会（除雪機安全協議会）

ウェブサイト：<http://www.jfmma.or.jp/office1028.html>

安全啓発ポスター：<http://www.jfmma.or.jp/office1029.html>

(2) ダイキン工業株式会社が製造したエアコン（室外機）について（管理番号A201500699）

① 事故事象について

ダイキン工業株式会社が製造したエアコン（室外機）を使用中、当該製品を焼損する火災が発生しました。

当該事故の原因は、現在、調査中ですが、当該製品のプリント基板のダイオードブリッジのはんだ接続部で、はんだ量が少なく、プリント基板と電装品箱の熱伸縮の差により、はんだ接続部に繰り返し応力が掛かり、はんだクラックが発生し、発煙・出火に至ったものと考えられます。

② 再発防止策について

同社は、当該製品を含む対象製品（下記③）について、事故の再発防止を図るため、2004年（平成16年）10月18日にウェブサイトに情報を掲載し、翌10月19日に新聞社告を行うとともに、継続的に新聞折込チラシやダイレクトメールの送付を行い、無償点検・改修（プリント基板の交換又ははんだ盛りの追加等の対策）を実施しています。

③ 対象製品：機種・型式、製造番号、対象製造期間、対象台数

機種・型式	製造番号	対象製造期間	対象台数
AR2205X	4000101～4003200 5000101～5007200	1995年1月 ～ 1998年3月	9,950
AR228HDX	7000101～7008447		7,271
AR△△*6*	5000101～70*****		81,475
AR○○*7*	6000101～70*****		108,733
AR○○*8*	7000101～70*****		15,214
RA225G*	4000101～70*****		8,163
RA△△6*	5000101～70*****		107,914
RA○○7*	6000101～70*****		192,389
RA○○8*	7000101～70*****		55,864
RAJ△△8*	7000101～70*****		3,429
RAZ225*	4000101～70*****		21,007
RAZ△△6*	5000101～70*****		30,672
合 計			642,081

備考1. 対象機種の定格冷房能力は、2.2kW～3.2kW

備考2. 海外販売製品には、対象機種はありません。

注1. ○○は、22、25、28、32のいずれかの数字

注2. △△は、22、25、28のいずれかの数字

注3. \*印は、数字又はアルファベット

2004年（平成16年）10月18日からリコール（無償点検・改修）を実施  
改修率：53.8%（2015年12月31日時点）

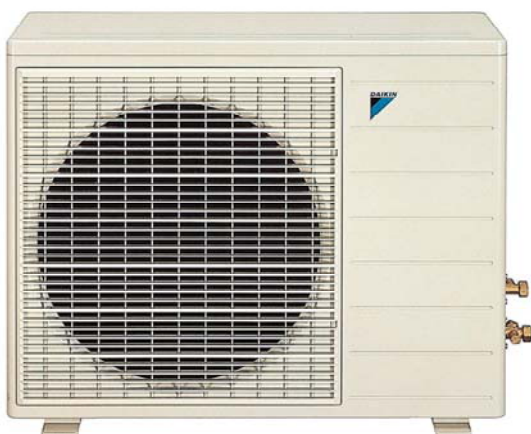
<リコール対象製品での事故件数>

当該事故（管理番号A201500699）発生以前の、同社が製造した当該製品におけるリコール対象の内容による2010年度以降の事故（調査中のものであってリコール対象の内容の事故かどうか不明なものを含む。）の件数は、次のとおりです。これらは、消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告を受けたものです。

年度	事故件数	被害状況	年度	事故件数	被害状況
2015年度	0	—	2012年度	2	火災
2014年度	1	火災	2011年度	0	—
2013年度	0	—	2010年度	2	火災

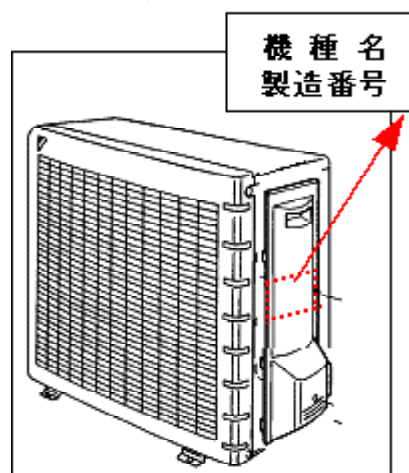
<対象製品の外観及び確認方法>

1) 対象製品の外観

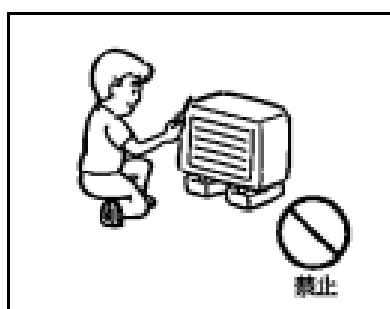


(写真はAR2205X)

2) 対象製品の確認方法



(注) 自身で工具を用いての製品の分解等は、危険ですので決してしないようにお願いします。



(参考) リモコンの型番から対象製品を確認できる場合もあります。

リモコン型番	○に入る数字		製造期間
	対策が必要	調査が必要	
ARC408A○	10、13、20、30	14、15、24、25、28、29	1995年1月 ～ 1998年3月
ARC409A○	6、11	1、8、15、17、21	
ARC411A○	4、6、9	1、2、3、8	
ARC418A○	なし	1、2	
ARC402A○	なし	6	

備考1. 型番は、リモコン裏面に記載しています。

備考2. 「対策が必要」の項目に該当するリモコン型番の機種では、事業者による改修が必要となります。

備考3. 「調査が必要」の項目に該当するリモコン型番の機種では、改修が必要な場合がありますので、事業者による調査が必要となります。



注：写真のリモコンは、ARC408A10のリモコンであり、型番によって形状は異なります。

#### ④消費者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ製造事業者の行う無償点検・改修を受けていない方は、直ちに使用を中止し、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

【ダイキン工業株式会社が製造したエアコン（室外機）についての問合せ先】

ダイキン工業株式会社

電話番号：0120-330-696

受付時間：24時間受付

ウェブサイト：[http://www.daikin.co.jp/taisetsu/2004/041019\\_r/index.html](http://www.daikin.co.jp/taisetsu/2004/041019_r/index.html)

(3) 富士通株式会社が販売したノートパソコン用バッテリーパック（「ノートパソコン」として公表）について（管理番号A201500706）

①事故事象について

富士通株式会社が販売したノートパソコンを使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生しました。当該事故の原因は、現在、調査中です。

②当該製品のリコール（無償製品交換）について

同社は、当該製品を含む対象製品（下記③）について、対象製品のバッテリーパックの製造上の不具合により、バッテリーセルが異常発熱し、出火に至った可能性が高いことから、事故の再発防止を図るため、2015年（平成27年）8月27日にウェブサイトへ情報掲載を行い、対象製品について無償で製品交換を実施しています。

なお、今般報告のあった当該事故（管理番号A201500706）が上記の事象によるものかどうかは現時点では不明です。

③対象製品：製品名、対象製品搭載のノートパソコン、対象個数、対象製造期間

製品名：ノートパソコン用バッテリーパック

富士通株式会社が販売したノートパソコン（LIFEBOOKシリーズ）の一部の機種に搭載したバッテリーパック及びオプション・サービス用に販売したバッテリーパックのうち、2011年8月から2012年5月までに製造されたもの。

対象製品搭載のノートパソコン：別添参照  
（ウェブサイト）

[https://azby.fmworld.net/battery\\_exchange/2015/model.html?supfrom=battery\\_exchange2015#modellist](https://azby.fmworld.net/battery_exchange/2015/model.html?supfrom=battery_exchange2015#modellist)

対象個数：67,215個（個人向け50,491個、法人向け16,724個）

対象製造期間：2011年8月～2012年5月

2015年8月27日からリコール（無償製品交換）を実施

回収率：23.9%（2015年12月28日時点）

<リコール対象製品での事故件数>

当該事故（管理番号A201500706）発生以前の、同社が販売した当該製品における2010年度以降のリコール対象の内容による事故（調査中のものであってリコール対象の内容の事故かどうか不明なもの及びリコール開始の契機となった事故を含む。）の件数は、次のとおりです。これらは、消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告を受けたものです。

年度	事故件数	被害状況	年度	事故件数	被害状況
2015年度	1	火災	2012年度	0	—
2014年度	1	火災	2011年度	0	—
2013年度	0	—	2010年度	0	—

### <対象製品の確認方法>

バッテリーパックに記載された、以下の「物品番号」及び「製造番号の一部」が対象となります。

物品番号	製造番号の一部
CP556150-01	Z110802~Z111212
CP556150-02	Z120102~Z120512

「物品番号」「製造番号の一部」は、以下のようなバーコードがプリントされたシールに記載されています。赤枠で示す該当部分を調べてください。

- ・「物品番号」 CPから始まる一連の英数字



P/N : CP556150-01 もしくは P/N : CP556150-02 が該当します。

- ・「製造番号の一部」 ハイフン以降Zから始まる英数字



#### ④消費者への注意喚起

対象製品をお持ちの方は、バッテリーパックをノートパソコンから取り外し、周辺に可燃物がない場所に保管するとともに、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。  
なお、バッテリーの充電をしないでください。

#### 【富士通株式会社が販売したノートパソコンについての問合せ先】

富士通株式会社 FMVバッテリーパック交換ご相談窓口

電話番号：0120-924-632 ※フリーダイヤル（無料）

受付時間：9時～17時（土・日・祝日・事業者指定の休日は除く。）

ウェブサイト：<http://pr.fujitsu.com/jp/news/2015/08/27-1.html>

[http://azby.fmworld.net/battery\\_exchange/2015/](http://azby.fmworld.net/battery_exchange/2015/)



対象製品を搭載したノートパソコンの一覧表

販売先	シーズン	品名	型名
個人	2011年冬モデル	LIFEBOOK PH74/E	FMVP74EB
			FMVP74EW
		LIFEBOOK PH74/EN	FMVP74EN37
			FMVP74EN38
		LIFEBOOK PH75/EN	FMVP75EN37
			FMVP75EN38
			FMVP75EN57
			FMVP75EN58
		LIFEBOOK SH54/E	FMVS54EB
			FMVS54ER
			FMVS54EW
			FMVS54EWG
		LIFEBOOK SH54/EN	FMVS54EN37
			FMVS54EN38
			FMVS54EN57
			FMVS54EN58
		LIFEBOOK SH56/E	FMVS56EBC
			FMVS56ERC
			FMVS56EWC
		LIFEBOOK SH76/E	FMVS76E
	LIFEBOOK SH76/EN	FMVS7EN5B7	
		FMVS7EN5B8	
		FMVS7EN5S7	
		FMVS7EN5S8	
		FMVS7EN7B7	
		FMVS7EN7B8	
		FMVS7EN7S7	
		FMVS7EN7S8	
	2012年春モデル	LIFEBOOK PH75/GN	FMVP75GN37
			FMVP75GN38
			FMVP75GN57
			FMVP75GN58
LIFEBOOK SH54/G	FMVS54GB		
	FMVS54GBG		
	FMVS54GMG		
	FMVS54GR		
	FMVS54GW		
	FMVS54GWG		
	FMVS54GWTK		
LIFEBOOK SH54/GN	FMVS54GN37		
	FMVS54GN38		
	FMVS54GN57		
	FMVS54GN58		

販売先	シーズン	品名	型名
個人	2012年春モデル	LIFEBOOK SH56/G	FMVS56GBC
			FMVS56GRC
			FMVS56GWC
			FMVS76G
			FMVS76GTK
		LIFEBOOK SH76/GN	FMVS7GN5B7
			FMVS7GN5B8
			FMVS7GN5S7
			FMVS7GN5S8
			FMVS7GN7B7
			FMVS7GN7B8
			FMVS7GN7S7
			FMVS7GN7S8
		2012年夏モデル	LIFEBOOK PH75/HN
	FMVP75HN38		
	FMVP75HN57		
	FMVP75HN58		
	LIFEBOOK SH54/H		FMVS54HB
			FMVS54HR
			FMVS54HW
	LIFEBOOK SH54/HN		FMVS54HN37
			FMVS54HN38
			FMVS54HN57
			FMVS54HN58
	LIFEBOOK SH56/H		FMVS56HBC
			FMVS56HRC
			FMVS56HWC
	LIFEBOOK SH76/H	FMVS76H	
FMVS76HTK1			
FMVS76HTK2			
LIFEBOOK SH76/HN	FMVS7HN5B7		
	FMVS7HN5B8		
	FMVS7HN5S7		
	FMVS7HN5S8		
	FMVS7HN7B7		
	FMVS7HN7B8		
	FMVS7HN7S7		
	FMVS7HN7S8		

販売先	シーズン	品名	型名
法人	2011年下期モデル	LIFEBOOK P771/D	FMVNP5CE
			FMVNP5CG
			FMVNP5CM
			FMVNP5NE
			FMVNP5NER
			FMVNP5NEU
			FMVNP5NEZ
			FMVNP5NG
			FMVNP5NGR
			FMVNP5NM
			FMVNP5NMR
			FMVNP5NMU
			FMVNP5YE
			FMVNP5YER
			FMVNP5YG
	FMVNP5YM		
	FMVNP5YMR		
	2012年上期モデル	LIFEBOOK A552/EW	FMVYN2C21
		LIFEBOOK A572/E	FMVNA6GE
			FMVNA6HE
		LIFEBOOK A572/EW	FMVYN2A21
			FMVYN2B21
			FMVYN3A21
			FMVYN3B21
		LIFEBOOK E742/E	FMVNE6H1E
			FMVNE6HE
			FMVNE6HG
FMVNE6HM			
FMVNE6J1E			
FMVNE6J1M			
FMVNE6JE			
LIFEBOOK E752/E		FMVNGE6HM	
LIFEBOOK P772/E		FMVNP6GM	
		FMVNP6HE	
		FMVNP6HER	
		FMVNP6HG	
		FMVNP6HM	
		FMVNP6HMR	
	FMVNP6ME		
LIFEBOOK S752/E	FMVNGS6HE		
LIFEBOOK S762/E	FMVNS6GE		
	FMVNS6HE		
	FMVNS6HER		
	FMVNS6HG		
	FMVNS6HM		
	FMVNS6HMR		
	FMVNS6XE		
	FMVNS6XER		
FMVNS6XM			

(本発表資料の問合せ先) 消費者庁消費者安全課  
(製品事故情報担当) 担 当 : 木原、清重  
電 話 : 03-3507-9204 (直通)  
F A X : 03-3507-9290

経済産業省商務流通保安グループ製品安全課製品事故対策室  
担当 : 下出、鈴木、植杉、岸田  
電 話 : 03-3501-1707 (直通)  
F A X : 03-3501-2805

1. ガス機器・石油機器に関する事故(製品起因か否かが特定できていない事故を含む。)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201500697	平成27年12月14日	平成28年1月25日	ガスこんろ(都市ガス用)	RTS-1DA	リンナイ株式会社	火災	当該製品を使用中、建物を全焼する火災が発生した。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	福井県	事業者が重大製品事故として認識したのは平成28年1月15日
A201500698	平成28年1月13日	平成28年1月25日	石油給湯機	UIB-3300TXA(F)	株式会社コロナ	火災	当該製品を焼損する火災が発生した。当該製品の設置状況を含め、現在、原因を調査中。	神奈川県	製造から15年以上経過した製品 平成28年1月21日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A201500703	平成28年1月17日	平成28年1月26日	石油給湯機	UIB-310TX2(A)	株式会社コロナ	火災	当該製品を使用中、当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	広島県	製造から25年以上経過した製品
A201500707	平成27年12月23日	平成28年1月27日	カセットボンベ	コン郎ボンベ	株式会社東海	火災	施設で当該製品をカセットこんろに装着していたところ、当該製品が破裂し、周辺を破損する火災が発生した。事故発生時の状況を含め、現在、原因を調査中。	徳島県	事業者が重大製品事故として認識したのは平成28年1月8日 報告書の提出期限を超過していることから、事業者に対し嚴重注意
A201500708	平成28年1月10日	平成28年1月27日	石油温風暖房機(開放式)	GT-329Y	株式会社コロナ	火災	当該製品を使用中、建物を全焼する火災が発生した。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	長崎県	

## 2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201500164	平成27年5月25日	平成27年6月10日	IH調理器	KZ-PH30	松下電器産業株式会社(現 パナソニック株式会社)	火災	当該製品を焼損する火災が発生した。調査の結果、当該製品の制御基板の一部が焼失していることから、ほこり等の付着によるトラッキング現象が生じたものと考えられるが、焼損が著しく、原因の特定には至らなかった。	佐賀県	平成27年6月12日にガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故として公表していたもの
A201500699	平成28年1月13日	平成28年1月26日	エアコン(室外機)	AR2205X	ダイキン工業株式会社	火災	当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。事故原因は、現在、原因を調査中であるが、当該製品のプリント基板のダイオードブリッジのはんだ接続部で、はんだ量が少なく、プリント基板と電装品箱の熱伸縮の差により、はんだ接続部に繰り返し応力が掛かり、はんだクラックが発生し、発煙・出火に至ったものと考えられる。	大阪府	製造から20年以上経過した製品 平成28年1月28日に消費者安全法の重大事故等として公表済 平成16年10月18日からリコールを実施(特記事項を参照) 改修率:53.8%
A201500701	平成28年1月8日	平成28年1月26日	電気毛布	OB-180(推定) (東京芝浦電気株式会社(現東芝ホームテクノ株式会社)ブランド)	日本電熱株式会社 (東京芝浦電気株式会社(現東芝ホームテクノ株式会社)ブランド)	火災	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	山形県	製造から30年以上経過した製品
A201500706	平成28年1月18日	平成28年1月27日	ノートパソコン	FMVNP5YE	富士通株式会社	火災	事務所で当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	群馬県	平成27年8月27日からリコールを実施(特記事項を参照) 回収率:23.9%

### 3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201500694	平成28年1月21日	平成28年1月25日	除雪機(歩行型)	死亡1名	使用者(70歳代)が当該製品を使用中、当該製品の下敷きになり、病院に搬送後、死亡が確認された。当該製品の安全装置が作動しなかった状況を含め、現在、原因を調査中。	長野県	
A201500695	平成28年1月21日	平成28年1月25日	除雪機(歩行型)	重傷1名	使用者(50歳代)が当該製品を使用中、投雪口に詰まった雪を取り除こうとしたところ、手を負傷した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	長野県	
A201500696	平成28年1月12日	平成28年1月25日	布団乾燥機	火災	当該製品をコンセントに接続して使用していたところ、当該製品のプラグ部及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	愛知県	平成28年1月21日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A201500700	平成27年12月30日	平成28年1月26日	電気蓄熱式湯たんぽ	重傷1名	当該製品を使用中、当該製品が破裂し、脚に火傷を負った。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	埼玉県	
A201500702	平成28年1月16日	平成28年1月26日	電気冷蔵庫	火災	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	兵庫県	平成28年1月28日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A201500704	平成27年11月30日	平成28年1月26日	窓	重傷1名	当該製品(上げ下げ窓)を開閉していたところ、下窓が落下し、右手指を負傷した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	新潟県	事業者が重大製品事故として認識したのは平成28年1月23日
A201500705	平成28年1月14日	平成28年1月27日	電気湯沸器	火災	当該製品をコンセントに接続して使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	岡山県	

### 4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故調査判定合同会議において審議を予定している案件

該当案件無し